

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科昼間部		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	統計学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時間	前期 木曜3限	教室名	4校舎301
担 当 教 員	遠藤 優太	実務経験と その関連資格	専門社会調査士			
《授業科目における学習内容》						
今日さまざまな場面で用いられている統計的なデータについて、その収集から分析までの過程で必要な統計学の基礎を学ぶ。データを使って結論を出すまでには、研究のデザイン、実験や調査の実施、データの記述、母集団の推測といったプロセスがあり、その中で統計学の果たす役割や統計的な考え方を理解し、具体例を使って実際に計算できるようになることを目指す。						
《成績評価の方法と基準》						
期末試験60％以上の得点をもって合格とする。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書は特に指定しないが、以下を参考図書として紹介する。詳細は授業内で指示する。 神林博史・三輪哲『社会調査のための統計学』(技術評論社)ISBN:9784297141462 宮川公男『基本統計学』(有斐閣)ISBN:9784641165960						
《授業外における学習方法》						
配布資料や参考図書を確認しながら授業内容について復習し、課題に取り組むことが求められる。国家試験の過去問題も適宜、参照すること。						
《履修に当たっての留意点》						
授業内容は受講者の理解度に応じて変更することがある。本科目は、別科目「心理測定法」に続く内容を扱うため、理解しておく心理測定法の理解に役立つ。						
授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	研究や問題解明のプロセスにおける研究法・手法・統計学の役割を理解できるようになる	配布資料	参考図書の該当箇所を読む	
		各コマにおける授業予定	イントロダクション:統計学の役割			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	代表値(最頻値・中央値・平均値)や散布度の指標を理解・計算できるようになる	配布資料	参考図書の該当箇所を読む	
		各コマにおける授業予定	1変数の記述統計			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	確率の基本原則を理解し、統計の基礎になる分布をイメージできるようになる	配布資料	参考図書の該当箇所を読む	
		各コマにおける授業予定	確率変数と確率分布			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	統計的推測の仕組みを直観的に理解できるようになる	配布資料	参考図書の該当箇所を読む	
		各コマにおける授業予定	大数の法則と中心極限定理			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	点推定・区間推定の考え方を理解し、実際に計算できるようになる	配布資料	参考図書の該当箇所を読む	
		各コマにおける授業予定	統計的推定			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	統計的仮説検定の仕組みを理解できるようになる	配布資料	参考図書の該当箇所を読む
		各コマにおける授業予定	統計的検定		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	カイ二乗検定について理解し、クロス表から変数どうしの関連を読みとれるようになる	配布資料	参考図書の該当箇所を読む
		各コマにおける授業予定	クロス表		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	関連、相関、因果、媒介関係について説明できるようになる	配布資料	参考図書の該当箇所を読む
		各コマにおける授業予定	相関と因果		
第9回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第10回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第11回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			